

## 平成23年度公開講座報告

高知女子大学看護学会企画委員長 長 戸 和 子

平成23年度高知女子大学看護学会公開講座を平成24年5月19日（土）池キャンパス大講義室において開催した。「人々の健康と安全を守る看護職者の役割―災害への備えと対応―」というテーマのもと、国立保健医療科学院生涯健康研究部上席主任研究官 奥田博子先生と、日本赤十字広島看護大学教授 中信利恵子先生のお二人を講師にお迎えし、ご講演いただいた。高知県内の看護師、保健師、助産師、大学院生など、新人から経験年数30年を超えるベテランまで、92名の参加があった。

奥田博子先生からは、「災害に備える地域のシステムづくり」というテーマで、災害保健活動に関する基礎知識から、先生がこれまでに携わってこられた被災地での活動、さらには災害準備期における地域のシステムづくりの実践活動まで、幅広いお話を伺うことができた。中信利恵子先生からは、「被災地での災害看護活動を体験した看護者への支援のあり方」というテーマで、先生ご自身の研究成果に基づき、災害看

護活動に従事した看護者がどのような体験をするのか、また、周囲の人々はどのようなサポートを行えばよいのかということについてお話しいただいた。いずれも、ご自身の災害保健活動・災害看護活動の実践経験の中からのご講演内容であり、近い将来、南海大地震の発生が予測されている高知県の看護職者にとっては、災害発生後はもちろん、発生前から備えていくための具体的な取り組みや考え方を知ることができ、学ぶことの多いご講演であった。

終了後のアンケートでは、「地域での取り組みで様々な人たちと話し合いを続けて形にしていく過程がよくわかった」「災害に備える必要があることはわかっているが、何をすればよいかわからないという状況の中で、非常に具体的な話が聞いてよかった」「自施設でも取り組みたい内容であった」などの意見が寄せられ、具体的なイメージ化につながる、実践的な学びの多い講演であったことがうかがえた。

